

ALAN Forum

いざ社会実装！ ラストフロンティアたる水中世界へ

島田 雄史
(株)トリマティス

吉田 弘
(国研)海洋研究開発機構

「光」で水中世界を快適に

2022.7.25[MON]

15:30-17:00

無料オンラインセミナー

越智 鉄美

東日本電信電話(株)

深澤 杏香
富士通(株)

杉本 英樹
五洋建設(株)

水中光技術の活用を通じた新市場創出・社会課題解決を目指すALAN (Aqua Local Area Network) コンソーシアムでは昨年、1Gbps×100m超高速海中光ワイヤレス通信の成功(*1)、水中LiDAR小型化・高速化を実現(*2)しました。今後、技術の社会実装に向けて、海洋産業の現状課題に対する具体的なアプローチを始動します。本フォーラムでは、新規設立のワーキンググループのご紹介に加え、本コンソーシアムメンバー団体が期待する社会実装像と、その期待に応える新たなビジネスモデルをご紹介します。

参加申込

<https://form.k3r.jp/jeita/alan20220725>

プログラム

※講演内容・プログラムは一部変更となる可能性があります。

15:30-15:35

開会挨拶

ALANコンソーシアム代表 島田 雄史 氏

15:35-15:51

講演1

「海中を産業の場にするためにすべきこと ～意識改革と使える海中プラットフォームの実現～」
国立研究開発法人海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用開発部門
技術開発部 次長 吉田 弘 氏

15:51-16:07

講演2

「完全閉鎖循環式陸上養殖ビジネス化への挑戦」
東日本電信電話株式会社 ビジネスイノベーション本部 地方創生推進部
産学官連携担当課長 越智 鉄美 氏

16:07-16:23

講演3

「水中無線技術の海洋工事への適用について」
五洋建設株式会社 土木本部 船舶機械部開発グループ 専門部長 杉本 英樹 氏

16:23-16:39

講演4

「海中を「アナログ」から「デジタル」へ！潜水士の通信支援システムの実装」
富士通株式会社 FICセンター 深澤 杏香 氏

16:39-16:55

講演5

「underXwater事業で水中に挑む」
株式会社トリマティス 代表取締役 CEO/ALANコンソーシアム代表 島田 雄史 氏

16:55-17:00

閉会

(*1) 本コンソーシアムの会員である(株)トリマティス、(国研)海洋研究開発機構によるもの

(*2) 本コンソーシアムの会員である(株)トリマティスによるもの

【お問い合わせ】 ALANコンソーシアム事務局
一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) 事業戦略本部 市場創生部
E-mail : info_alan@jeita.or.jp
URL : <https://www.facebook.com/ALANconsortium>

講演概要

海中を産業の場にするためにすべきこと —意識改革と使える海中プラットフォームの実現—

国立研究開発法人
海洋研究開発機構
研究プラットフォーム運用開発部門
技術開発部次長

吉田 弘 氏

「新しい海洋産業」と言われて暫く経ちますが、洋上風力発電以外の大規模な海洋産業は成長しておらず、産業の拡大には、社会データ分析と近未来予測を通じたストーリーメイキングが必要です。また、システムデザインの手法を理解することも、新しい産業としてのポテンシャルをもつ技術の活用に繋がります。現在、ALANでは海中の光無線技術をコアに置いた活動を行なっています。今後の取り組みとして、社会実装に必要なプラットフォーム技術（ロボティクス）や他の無線技術も利用した活動を開始します。本フォーラムでは、その概要についてお話します。

完全閉鎖循環式 陸上養殖ビジネス化への挑戦

東日本電信電話株式会社
ビジネスイノベーション本部
地方創生推進部
産学官連携担当課長

越智 鉄美 氏

昨今の大幅な気候変動や世界的な魚類需要の増加などにより、水産資源の枯渇化が大きな社会課題となっています。本フォーラムでは、この社会課題解決策に向けてNTT東日本が取り組みを始めた、場所を問わずにどこでも安定して魚類の生産が可能となる「完全閉鎖循環式陸上養殖」の事業化に向けた取り組みの内容および、今後の展望と課題などについて講演させていただきます。

水中無線技術の海洋工事への適用について

五洋建設株式会社
土木本部
船舶機械部開発グループ
専門部長

杉本 英樹 氏

海洋工事では、水中の可視化のために「水中音響機器」が採用されています。本フォーラムでは、標準化にある水中音響機器とともに、「レーザ」や「光通信技術」を導入した際のメリットなどを考察し、海洋の建設現場のなかでも特に需要の多い「港湾工事」における光技術の適応条件についてご紹介します。

海中を「アナログ」から「デジタル」へ！潜水士の通信支援システムの実装

富士通株式会社
FICセンター

深澤 杏香 氏

これから海での建設現場の急増が予想されるなか、その現場において重要な役割を担う潜水士が不足しています。私たちは、潜水士の技術継承をサポートすべく「水中光無線技術」と「ヘッドマウントディスプレイ」を組合せた新たなシステムを提案します。これが実現すると、船上と潜水士あるいは潜水士同士の双方向ライブ配信が可能となり、経験の浅い潜水士への技術継承のサポート、更には潜水士一人ひとりの生産性向上が期待できます。海中を「アナログ」から「デジタル」へ！その第一歩を踏み出します。

underXwater事業で水中に挑む

株式会社トリマトイス
代表取締役 CEO
(ALANコンソーシアム代表)
島田 雄史 氏

ALANを立ち上げ牽引して来た当社は、いよいよ本格的に水中環境へ乗り出します。Aqua-pulsarと称するハードウェア群を水中ドローンに搭載し、様々なサービスの展開をして参ります。本フォーラムでは、その概要について説明します。更にその先には「水中デジタルツイン」への展望も・・・？